



外国出張報告書

平成 25 年 8 月 20 日

1. 出張国名 ガーナ

2. 出張月 平成 25 年 7 月

3. 出張目的

稲作推進のフォローアップとして、ガーナ国におけるコメに係るバリュー・チェーンに関する情報収集等

4. 成果の概要

ガーナ国において、米のバリュー・チェーンに関する調査を行った。関係機関から情報収集を行うとともに、生産・加工・流通・小売等、ローカル米に関わるステークホルダーに対し、対面によるヒアリング調査を行った。

ガーナにおいて、コメは主食のひとつとして認識されるようになっており、今後はさらに増加すると予測される。消費者や実需者は、ローカル米の品質やパッケージングに不満を抱いており、ローカル米の消費拡大のためには、これらの問題を解決する必要がある。品質向上には、生産者・輸送業者・精米業者らの技術向上と、精米業者・トレーダー・米取扱店経営者らの保存管理方法の改善が必要である。また、若年層になればなるほど伝統的主食よりもコメの方を好む者が多く、若年層は輸入米の味に慣れてしまっている。従って、食糧安全保障の観点からも、ガーナにおける稲作推進が重要である。